

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

佐賀県 基山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	60.11	78.10	91.66	3,240

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,457	22.15	788.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,599	2.70	5,036.67

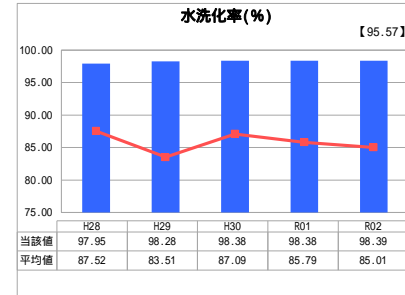
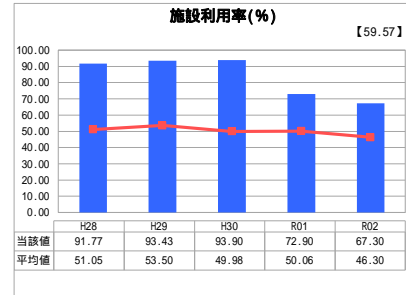
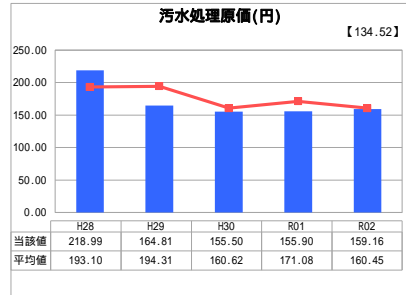
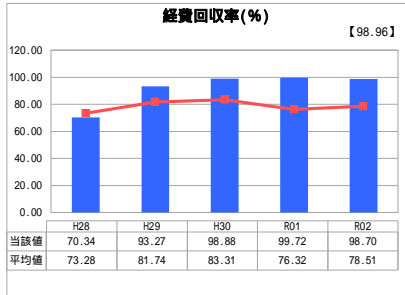
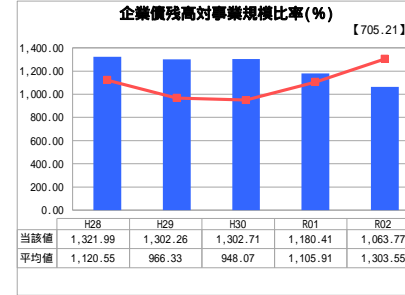
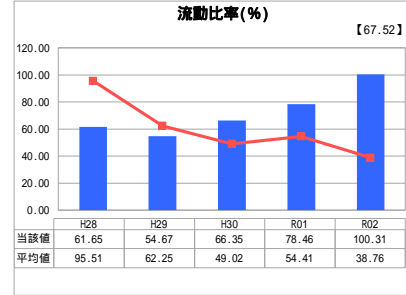
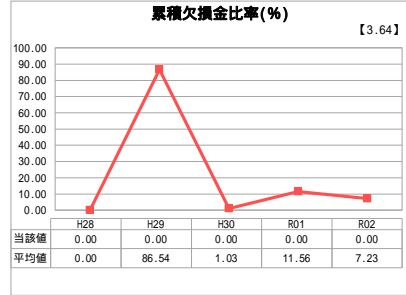
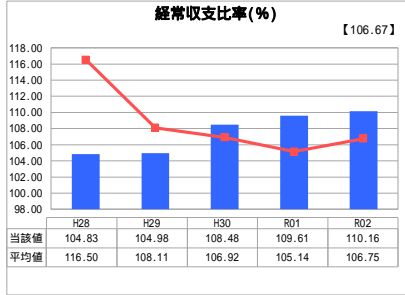
**グラフ凡例**

■ 当該団体値(当該値)

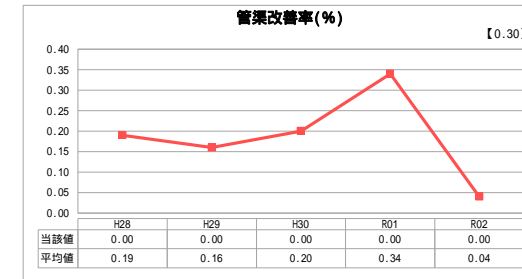
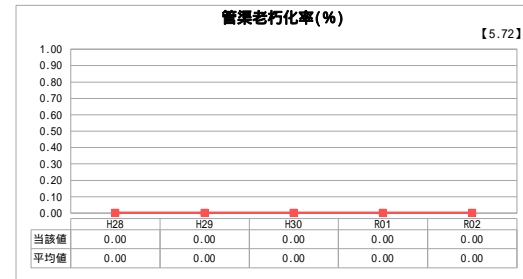
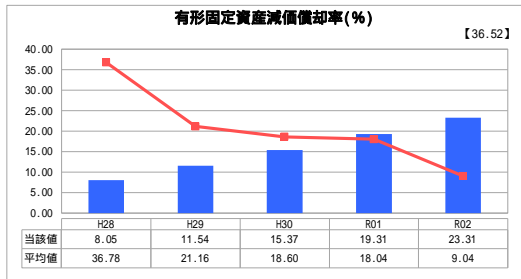
○ 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超えており類似団体及び全国平均より高くなっており、今後も効率化の推進を図り、経常費用の削減を進めたい。

累積欠損金比率は、前年度と変わらず0%となっており、今後も継続できるように経営努力を行っていく。

流動比率は、企業債の償還金を一般会計からの繰入金で賄っていることもあり、100%を上回っている。今後、更なる継続向上を図るだけでなく、使用料金の単価の見直しについて検討を行う。

企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較すると下回っているが、今後汚水ポンプ場及び管渠整備に対して大きな投資を予定しており、企業債残高が増加する見込みである。

経費回収率は、類似団体平均を上回っている。今後も更なる維持管理費の削減に努め、回収率の向上を目指す。

汚水処理原価は、類似団体と比較するとほぼ変わらない状況となっている。令和7年度までは大きな収入増が見込めないため、必要に応じて使用料金の単価の見直しについて検討を行う。

水洗化率は類似団体及び全国平均を上回っている状況である。今後も使用料収入を図るため、水洗化率向上を図っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について、類似団体の平均値より高くなっている。処理場については、将来的に廃止を予定していることから、定期的に点検等を行い、必要に応じて更新・修繕を実施する。

及び、令和2年度については、管渠の更生等が行っていないが、断続的かつ定期的にTVカメラ等を用いた管渠の老朽化点検を行ったが、令和2年度の調査で更新が必要な箇所が判明した。

今後もTVカメラ等による点検を行い、結果に応じて更生等による老朽化対策を実施する。

### 全体総括

本町の公共下水道事業は、類似団体平均と比較すると、施設利用率など「施設の効率性」に関する経営指標及び「使用料対象の捕捉」に関する経営指標は平均値を上回っている一方で、下水道事業完了に向け、令和4年度より令和7年度までは汚水ポンプ場や管渠等の整備を予定しており、企業債残高が増加していくことが見込まれ、今後も厳しい経営環境となることが考えられる。

更なる町民サービスの向上を目指し、投資を含めて効率的かつ適正な下水道事業の運営を行うためには、事業の効率化や経費削減だけでなく、使用料金の単価の見直しについて検討を行う必要がある。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。